

令和 7 年度第 2 回旭川市スポーツ推進審議会 会議録

会議概要	
日時	令和 7 年 9 月 22 日（月曜日）午後 6 時から午後 7 時 10 分まで
場所	旭川市役所 第二庁舎 3 階 講座室
出席者	委員（7 人） 赤堀会長、稲田副会長、小田嶋委員、川崎委員 富田委員、原委員、藤田委員 事務局（9 人） 観光スポーツ部次長 松田 スポーツ推進課 山内施設管理・合宿担当課長、道下補佐、本地、 成田、二宮 スポーツ施設整備課 川原課長、大久保主幹、畠山主査 計 16 人
欠席者	3 人（阿部委員・佐竹委員・角尾委員）
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	1 人（報道機関）
会議資料	次第
	資料 1 カムイスキーリンクス管理運営計画（素案）について
	資料 2 花咲スポーツ公園再整備基本計画中間とりまとめ（素案）

会議の結果内容

1 開会

【事務局】

- ・出席者数及び会議の成立について報告。

【会長】挨拶。

【事務局】

- ・会長へ進行を依頼。

2 議事

(1) カムイスキーリンクス管理運営計画の策定について

【事務局】

・当日配布となったので、説明後、御意見を「意見提出表」又はメール等で10月6日までに事務局まで提出願いたい。

・資料に沿って説明。

【委員】

・どれぐらいのペースでバスが運行しているのか。今後の対策はどのように行うのか。

【事務局】

・始発から30分おきに運行。往路、最終12時20分、復路、始発14時20分となっている。

・朝の時間帯は混雑するので、増便するなど、解消が必要。バス会社などと連携についても必要。

【委員】

・利用者は市外に居住の方が多いのか。

【事務局】

・ホテルからカムイスキーリンクスに向かう方が多い。

【委員】

・報道されているリゾートホテルの建設や周辺の水不足の問題について、市としてどう考えるか。

【事務局】

・事業について承知はしているが、民間事業者の取組なので、市としては反対する立場にもないし、周辺開発を推進するという考えもない。

【委員】

・カムイスキーリンクスの周辺の開発が進むと、市の推進する方向とは違った方向に進む可能性があるが、修正等は考えているのか。

【事務局】

・カムイスキーリンクスについては当初から中心部で宿泊していただくという都市型スノーリゾートを戦略として持っており、今回の管理運営計画もこの考え方に基づいて作成している。民間事業者の取組については（考え方は違うが、結果として）リンクスにとって相乗効果があれば、よいことではあると考える。

【委員】

・カムイスキーリンクスは、都市型スキー場を目指すということで、スキー場の近くにホテル等を作って近隣地域を発展させるよりかは、今後も駅周辺にお金を落としてもらえるような方向で考えていくということではないか？

【事務局】

・そのとおり。

【委員】

・海外や市民への発信が必要と考える。どのように行う予定か。

【事務局】

・年内に完成の後、計画は公表し、個別の事業について発信していく予定。

【委員】

・アンケートについて（P 2 4）、「利用していない」約 3 3 %の方になぜ利用していないのかと
いうことを聞かなければ意味がないのではと考えるが、どうか。

【事務局】

・ご指摘のとおり、聞いていない。現状の認識されている課題解決に取り組む中で、利用者の意見を重視していきたい。

【委員】

・（P 1 2）求められる役割・機能 3 つについて、どちらかと言えば観光の拠点としての機能が優位となってしまうと感じる。このようなことから、市民優位のプランがなければ、3 つの役割の共存は難しいのではと感じるがどうか。

【事務局】

・3 つの役割に順位はない。（P 1 5）小中学生を対象とした利用促進事業として、無料チケットの配布などを検討している。利用者の増加による財源の確保等とのバランスを図りたい。

【委員】

・アクセスについて、バスを利用している方は満足しているのか。

・駐車場の料金・台数について教えてほしい。

【事務局】

・そういったアンケートはとっていないが、アンケートから「始発に乗ろうと思ったら満車で乗車できなかった。」「短時間の利用へのバスの対応」などの声はあったので、アンケート結果をもとに、課題は解消していきたい。

・駐車場は無料。駐車台数 2,000 台となっているが、大型バスなどもあるため、2,000 台は駐車できない。令和 6 年度は従業員の駐車場を確保して、利用者の駐車場を増加させている。利用者の増加に合わせ駐車場の増加についても検討していきたい。

【委員】

・改修を進めていくためには、収入の増が重要、また、観光について力を入れることが一番の収入増につながる。R 30 年までに収入について、検証しながら進めていくことが重要。どのように滞在させて、収入を得るかなどの視点も必要と感じた。

（2）花咲スポーツ公園再整備基本計画について

【事務局】

・資料 2 に沿って説明

・1 0 月 1 5 日から意見提出の手続きとさせていただきたい。

【委員】

・自分もスケート場やプールは利用している。50m プールについては、あまり使用されていないため、体育施設的なものではなくレクリエーション的なものにしてはと感じた。カーリング競技において旭川出身の選手がいるので、カーリングなどができるところがあればよい。

【事務局】

・御意見として承る。

【委員】

・スケート場は、12月20日～2月末までの使用期間であるが、廃止ではなく、期間の短縮等に対応はできないか。

【事務局】

・昨年度は1月の後半から気温が上がり、時間短縮せざるをえない状況となった。オープン日を遅らせたとしても、その年の気温の状況によりオープン日は前後するため、難しい。

【委員】

・屋外スケート場の廃止はいたしかたないと感じた。（冬場の利用として）例えばドッグランをつくるなど、別の使い方のアイデアがあればよいのではと考える。

・夏場は球技場と思うが、球技場の使用状況はどうか。

【事務局】

・小中学校の大会で使われている。スケート場が廃止となれば、芝への改修なども検討に入っていると考ええる。

【委員】

・スケート場の廃止、プールの見直しについて賛成。

【委員】

・プールの暑さや寒さ対策として、簡易的な屋根などの設置は考えているのか。

・50mプールは競技性のために残されていると感じるが、必要なか。思い切ってなくすといったことを、検討してもいいと感じる。

【事務局】

・屋根の設置は想定されていない。屋内型は更に経費がかかる。

【委員】

・道内で50mで正式なプールがあるのは、函館・帯広その他1つ程度しかないと思われる。現状ではなくなったとしても支障がないと感じる。見直しの内容については賛成。

（3）その他

【事務局】

・北口榛香記念旭川市スポーツ月間について

毎年10月を「北口榛花記念旭川市スポーツ月間」とし、旭川市民がスポーツを親しむ機会とし、イベントへの協賛、スポーツ施設の無料開放、スポーツショップでの商品割引などの協力をお願いしているところである。周知・協力を依頼。

【会長】

・本日の審議終了。事務局から。

【事務局】

・次回11月ごろの会議実施の予定。

・会議終了後1月程度に報酬の振込との案内。